いずみさの

市議会だより

No.196
2025.8.1

New Topics

一般会計補正予算を可決しました

再生可能エネルギー活用施設整備事業
妊産婦等生活援助事業　など

目　次

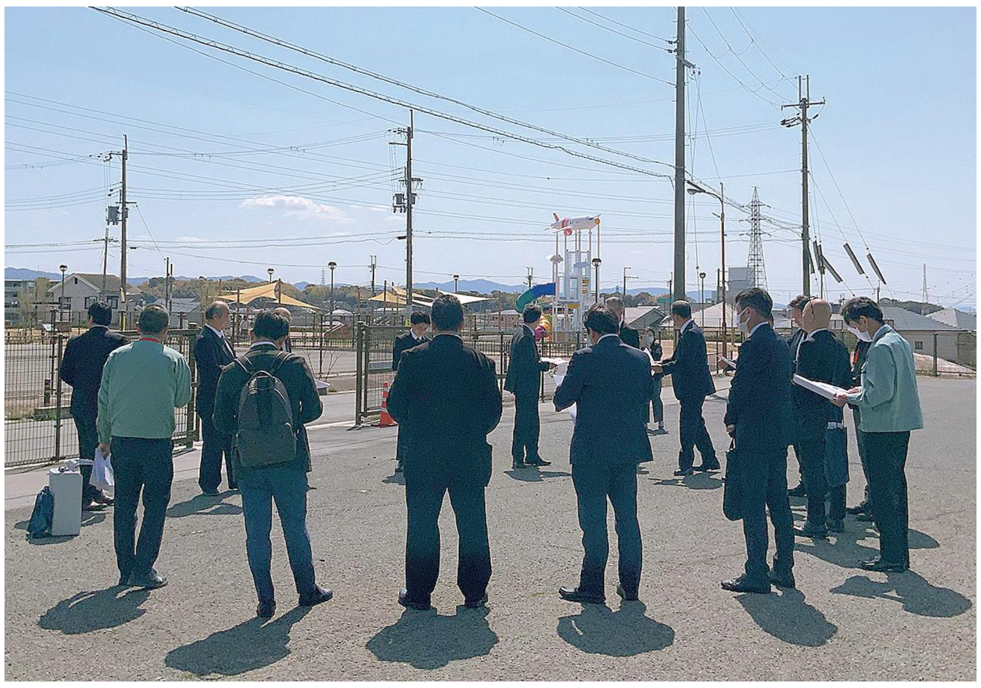
◆ 議会活動報告……………………………2
◆ 6月定例会の結果報告………… 3～6
◆ 一般質問、豆知識……………… 7～11
◆ ご案内 ………………………………… 12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。泉佐野市議会 検索

総務産業委員会 視察

4月4日

4月4日、長坂地区と北中地区に建設予定のボールパーク予定地を視察しました。担当課からの説明を受け、周囲を気にせず、思いっきりボール遊びができる広場は、周辺住民のこども達にとって貴重な遊び場となると感じました。



りんくう総合医療センター対策委員会 視察

6月17日

6月17日、委員会委員全員で「りんくう総合医療センター」を視察いたしました。

「ドクターカー」及び「救命救急センター」を視察した後、意見交換会を実施しました。

意見交換会での話題は多岐に渡り、活発な意見交換が行われました。

6月定例会を開催

総務産業委員会関係

工事請負契約締結についての議案が7件あり、一般競争入札による契約締結について審議されました。

可決 全会一致

議案第33号	令和7年度泉佐野土丸線道路整備工事	2億7,520万9,000円
議案第34号	佐野台小学校校舎増築工事	3億8,898万2,000円
議案第35号	北中小学校給食調理場整備工事	3億2,476万4,000円
議案第36号	末広小学校給食調理場整備工事	2億8,122万6,000円
議案第37号	第二小学校給食調理場整備工事	2億6,920万3,000円
議案第38号	北部市民交流センター本館改修工事	1億4,697万1,000円
議案第39号	上田ヶ丘団地住宅（1～17棟）解体工事	5億8,687万2,000円

議案第40号 動産の買入れについて

可決 全会一致

GIGAスクール用端末の買入れについて、随意契約による契約締結について審議されました。
契約金額　4億9,031万2,790円
令和3年に整備した1人1台端末（タブレット）が5年経つため、全校で更新するための買入れを行うものです。家庭への持ち帰り、活用を推進することや不登校児童生徒が活用できるようにという要望や更新の必要性などの質疑がありました。

議案第41号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

可決 全会一致

現在の部分休業が1日につき2時間を超えない範囲で勤務をしない時間を設けるというルールに、新たに1年度のうちに定められた時間を限度に好きなタイミングで取得できるよう部分休業を拡充する改正です。

議案第45号　令和7年度泉佐野市一般会計補正予算（第3号）

可決 全会一致

広報公聴事業（LINEで通報機能やお悔やみコーナーなどの機能を拡張する事業3ヵ年分）　554万円
国際交流推進事業（韓国スソン区との合唱団交流）　921万円
再生可能エネルギー活用施設整備事業（木質バイオマス発電の建設工事費など）　2億5,603万円
一般事務事業（置き配バッグ配布、浄化槽普及のためのイベント開催など）　1,700万円
漁業振興事業（令和8年度に開催される「第45回全国豊かな海づくり大会」の機運醸成を図るためのイベント開催）　495万円
など

厚生文教委員会関係

議案第45号　令和7年度泉佐野市一般会計補正予算（第3号）

可決 全会一致

令和7年6月定例市議会において厚生文教委員会に付託されました案件についてご報告いたします。

妊産婦等生活援助事業
　全国で3例目となる「赤ちゃんポスト」の設置及び内密出産について、行政指導で進めるべく、先進的に取り組む熊本県慈恵病院、東京都墨田区賛育会病院への現地調査等を行う為の経費を計上。

泉佐野市の未来を創る教育事業
　塾代等助成事業で、世帯対象を生活保護基準の1.5倍以下から認定基準を2.22倍以下に引き上げ助成対象者の拡大を図る。

小学校就学奨励事業
　修学旅行費に対し、物価高により国基準を上回っており、対策として支給単価を拡大し支援。
　他の議案も全員賛成いたしました。

議案第46号　令和7年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

可決 全会一致

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ21万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ108億2,312万5,000円とする補正予算。

議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案件
議案第30号 議案第31号 議案第32号	熊取町の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する規約の変更について熊取町と協議することについて 田尻町の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する規約の変更について田尻町と協議することについて 岬町の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する規約の変更について岬町と協議することについて 熊取町、田尻町、岬町からそれぞれ事務委託を受けている環境農林水産行政事務に関する規約を変更することについて各市町と協議する議案です。
議案第33号	工事請負契約締結について 泉佐野市土丸線道路設備工事について工事請負契約を締結するものです。
議案第34号	工事請負契約締結について 佐野台小学校校舎増築工事について工事請負契約を締結するものです。
議案第35号	工事請負契約締結について 北中小学校給食調理場設備工事について工事請負契約を締結するものです。
議案第36号	工事請負契約締結について 末広小学校給食調理場設備工事について工事請負契約を締結するものです。
議案第37号	工事請負契約締結について 第二小学校給食調理場設備工事について工事請負契約を締結するものです。
議案第38号	工事請負契約締結について 北部市民交流センター本館改修工事について工事請負契約を締結するものです。
議案第39号	工事請負契約締結について 上田ヶ丘住宅団地（1～17棟）解体工事について工事請負契約を締結するものです。
議案第40号	動産の買入れについて GIGAスクール用端末の買入れについて契約を締結するものです。
議案第41号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第42号	期末手当の支給割合の特例に関する条例制定について
議案第43号	泉佐野市市税条例の一部を改正する条例制定について
議案第44号	泉佐野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第45号	令和7年度泉佐野市一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5億1,954万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ789億33万9,000円とする補正予算。
議案第46号	令和7年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案番号	案件
議案第47号	令和7年度泉佐野市一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3,690万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ789億3,723万9,000円とする補正予算。
議案第48号	人権擁護委員候補者推薦についての意見を求めることについて 芝野公子さんを推薦することに同意しました。
議案第49号	教育委員会委員任命についての同意を求めることについて 角竜一さん、川上智子さんを任命することに同意しました。
議案第50号	固定資産評価審査委員会委員選任についての同意を求めることについて 赤坂宏さんを選任することに同意しました。
議員発議第13号	米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書の提出について 生産者、消費者双方にとって納得のできる米の価格の抑制に努めるとともに、米の安定供給に向けた抜本的な対策を講じるよう要望する意見書です。
議員発議第14号	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書の提出について 米国の関税措置に対し、特に日本の企業の9割以上を占める中小企業等を対象とした、具体的かつ手厚い施策を講じることを要望する意見書です。
議員発議第15号	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書の提出について 地方公共団体の財政事情によることなく、地方消費者行政を安定的に推進するための恒久的な財源措置すること、および消費生活相談員の安定的な確保と処遇改善に係る制度設計や、国が進める消費生活相談デジタル化に係る予算措置を要望する意見書です。

表決が分かれた案件

議案番号	案件	結果
議員発議第12号	給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書の提出について 国による給食無償化の実施にあたっては、給食の質および量の担保を可能とする十分な予算措置を講じるとともに、自治体格差が生じないよう要望する意見書です。	可決

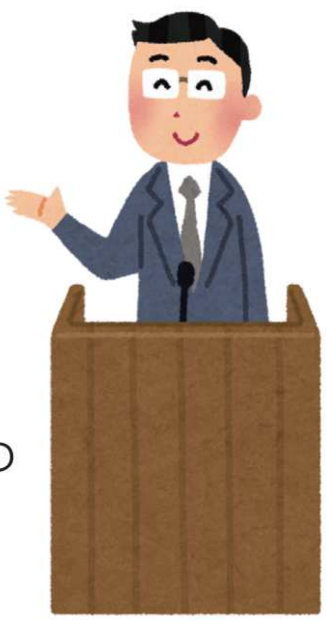
議案の賛否　表決が分かれた案件の賛否一覧です

議員名／議案名	新緑未来		正道の会	チーム泉佐野創生			大阪維新の会				再生市民の会	自民党		公明党			
	中藤　大助	布田　拓也	中村　慎作	向江　英雄	大和屋　貴彦　議長	野口　新一	新田　輝彦	日根野谷　和人	射手矢　真之　副議長	峰浦　修平	中庄谷　栄孝	西野　辰也	高橋　圭子	岡田　昌司	辻中　隆	大庭　聖一	松村　正秀
議員発議第12号	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。　○：賛成、×：反対

一般質問

議員が市の一般事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問します。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて30分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます。



一般質問に関するページの原稿は、本会議での発言を要約し、掲載しています。質問の全内容は、インターネットで泉佐野市議会ホームページの「議会中継」または、「会議録検索」（9月末日配信予定）をご覧ください。

◀議会中継のQRコード

大阪維新の会
泉佐野市会議員団　代表

日根野谷 和人 議員

・学校教育について
・大阪・関西万博の波及効果について
・デマンド交通について
・丘陵緑地について
・事業の契約について

学校教育について

Q 今年度より土曜授業の代休日を設けることについての見解は。

A 今年度の9月以降の土曜授業実施につきましては、平日の代休がなかった昨年度までの実施形式に戻し、今年度は3月までの学校休業日にあと5回、年間では計6回の土曜授業を実施してまいります。

Q コメ不足の影響で学校給食及びこども食堂にどのような影響がでていますか。また対応策は。

A 学校給食用のコメはJA大阪泉州と契約しておりますが、地場産のコメが確保できず、今後は北海道や徳島県産の特別栽培米となる予定です。また子ども食堂では、パン、シリアルなどコメ以外の食材を取り入れるなど創意工夫することで、予算の範囲内で運営していただいています。

今後もコメ不足による価格高騰の影響を受けると思われますが、できる限り地産地消を推進するとともに安全安心な食事の提供を続けてまいります。

大阪・関西万博の波及効果について

Q 万博開催期間中りんくうアイスパークに開設している「まるかじりJAPAN」の実績と万博の波及効果は。

A 6月8日現在、開館日数が21日、延べ来館者が約7,500人、売上合計が約2,700万円となっており、目標値を上回っております。訪日外国人の姿はそれほど多くありませんが、この先、夏季においては盆ダンス&DJショーなど夏の夜にぴったりなイベントを企画しており、りんくうタウンでの宿泊者をはじめ、広い層に対し本市来訪のきっかけになるものと考えています。

Q 万博閉会後は閉鎖、取り壊すと聞きますがどのような考えですか。

A 万博の期間に合わせて、基礎のない仮設建物としてリースにて設置しているため、万博終了後には撤去することとしております。

デマンド交通について

Q 本年2月、3月に公共交通空白エリアで実施した実証実験の結果はどうでしたか。

A 実証実験期間中の合計では276名の乗車があり、その内相乗りは22件ありました。利用の傾向としては自宅付近からスーパーなど買い物が最も多く、次いで通院が多い状況で、曜日別では金・土曜日の週末に多い傾向がありました。

Q りんくう総合医療センターや南海泉佐野駅など主要目的地をエリア外にも設定する必要があると思うが市の見解は。

A 利便性の向上に繋がることではありますが、その反面、移動の時間がかかり、そのために運行台数を増やすといったコストもかかってくることでもありますので、地域公共交通協議会で検討してまいります。

泉佐野丘陵緑地について

Q 上之郷の旧コスモポリス跡地の東地区、西地区を産業集積地として開発中ですが進捗状況は。

A 東地区の1区画において、新ごみ処理施設の建設のため令和10年秋頃を目途に造成宅地の一部使用収益開始を、令和11年度に換地処分を行う予定です。また西地区につきましては、東地区の造成工事に伴う発生残土を埋め立てる予定です。

Q 令和8年4月1日に中地区公園が市に移管されますがどのように運営していく方針ですか。

A 大阪府がこれまで進めてきました「環境・景観を大切にし、地域の人たちと協働で作り続ける公園」という理念を継承していくことを基本方針としています。地域と連携した協働型の公園づくりを今後も進めてまいります。

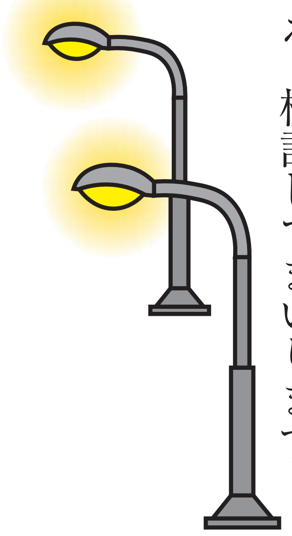
公明党
泉佐野市会議員団　代表
大庭　聖一　議員

- 防犯・防災について
- 教育について
- 農業について
- 病院について
- インフラ整備について
- 重点支援地方交付金について

防犯・防災について

Q 街灯を来年度から市が管理する事で学校の周辺や主要駅等に向かう街灯整備についても、防災計画の避難経路などと連動して整備を進めていただきたい。

A 現在、本市では、防犯灯の設置・維持管理について、大部分を町会・自治会でご負担いただいていますが、管理負担が増大している状況を踏まえ、本市が一括管理できるように、令和8年度から事前準備として調査業務を実施する予定です。この調査業務では、市内の防犯灯の設置状況、老朽化の状況、維持管理の実態などを詳細に把握し、今後の維持管理などに柔軟に対応できるよう検討を進めてまいります。また、防犯灯のLED化を含む計画的な改修、新たな設置や防犯上の配慮が必要な箇所の把握などについては、調査を踏まえ、検討してまいります。



Q 問題行動を起こす訪日外国人に対して、積極的に警察に相談してもらうことを推奨して、警察と協力して対応していただきたいと思います。

A 本市では、警察、地域住民、関係機関と連携し、防犯カメラの設置や防犯情報の発信など、犯罪抑止に努めています。本市の観光サイト「ここ旅泉佐野」でも、日本の文化などを理解していただくため「日本のエチケットガイド」を掲載し、啓発を行っています。本市に限らず、訪日外国人の一部の方の問題行動が顕在化している現状は認識しております。本市としましては、市民が安心して生活できる環境を守ることが不可欠であると考えており、今後も泉佐野警察署をはじめとする関係機関との連携を密にし、防犯対策と啓発に取り組んでまいります。

重点支援地方交付金について

Q 公明党泉佐野市会議員団として要望書を提出しましたが、お米を含む食料品等の物価高騰対策としてひとり親世帯へ生活応援金を支給することをお願いしたい。

A 国より、「重点支援地方交付金」が示され、本市としましては、長期化する物価高によりコメの価格が高騰するなど、家計負担が増大するなか、特にその影響を強く受けるひとり親世帯の生活を支援するため、一世帯あたり二万円を給付する事業などを実施する予定です。

自由民主党
泉佐野市会議員団　代表

西野　辰也　議員

・土曜授業について
・猫問題について
・ドローン練習及び競技場の設置について
・Windowsから他のOSへ

土曜授業の振替休日について

Q 現在行われている土曜事業の平日への振替休日は、父兄に大変なご苦労を掛ける一方、本来の土曜事業の趣旨から外れていると思う。以前の様に振替休日無しに戻せないか。

A 土曜授業は、本市が平成28年度より取り組んでいる事業で、「確かな学力の定着と、豊かな人間性の育成」「開かれた学校づくりの推進をめざして家庭・地域との連携を一層深めること」を目的としております。土曜授業の振替休日については、導入当初から昨年度までは、運動会や参観日の場合を除き、いずれも平日の代休日を設けずに実施してまいりました。本年度より初めて平日の代休日を導入しましたが、保護者の方からの「子どもをみるために仕事を休まなければならない」等のご指摘を真摯に受け止め、子どもの安全を最優先に考え、ご家庭の負担をなくすため、今年度の9月以降の実施につきましては、平日の代休がなかった昨年度までの実施形式に戻して実施してまいります。今後も土曜授業のメリットを活かすことができるように取組みの質を高めることで、さらに学校と地域とのつながりを強め、学校はもとより地域の教育力の向上に寄与できるよう努めてまいります。

未来ある地域猫活動について

Q 大阪市で行われている公園で猫を管理する、「公園猫適正管理推進サポーター制度」や名古屋市で行われているふるさと納税を利用した「犬猫サポート寄付金」などを参考に泉佐野市独自の施策を行っていただけないか。

A 本市としましては、市内で活動しているボランティア団体や地域のご意見を伺い、他自治体での取組み事例なども参考にしながら、地域猫活動を継続的に支援し、地域の環境改善に努めてまいります。

新緑未来　代表

中藤　大助　議員

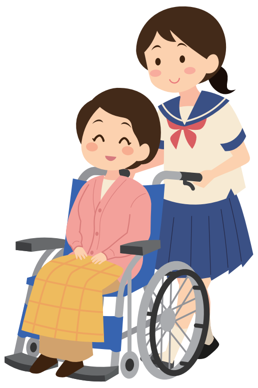
・子育て支援について
・学校給食について

子育て支援について
ヤングケアラー対策と社会的認知度の向上に対する取組みについて

Q 「ヤングケアラー問題」の認知度を高めることが喫緊の課題と考えますが、今後の具体的な周知方法等についてお尋ねします。

A 認知度向上や支援につなげるための策として、町別懇談会で周知啓発活動を実施し、また研修会や啓発リーフレットの配布を行ってまいりました。

小中学生においては、認知度が低いという調査結果から、教育委員会と連携しながらこどもへの啓発活動を引き続き実施するとともに、地域におけるヤングケアラー支援の大切さを知っていただくことが重要であると考えますので、こどもを取り巻く地域の方々の温かい見守り、身内以外の第三者へ相談しやすい環境づくりのため、町会などの地域社会に広く周知、啓発できるよう努めてまいります。



チーム泉佐野創生　代表

向江　英雄　議員

防災DXの推進について

Q 全国的に自然災害が頻発している中、地域防災を担う自治体では人手不足や財政悪化の深刻化により、従来の防災体制では対応が追いつかない状況にあり効率的な防災対策が求められている。デジタル技術を駆使した防災DXへの期待が高まっているが、本市の状況は？

A 本市では、情報発信ツールとして防災行政無線、市ホームページやおおさか防災ネットなどを活用しているほか、LINEアプリなどでスマートフォンへの情報発信、テレビのテロップに避難情報を表示するなどのシステムを導入しています。また、閉庁時間帯でも緊急地震速報や津波警報等が発令された場合に、防災行政無線を自動起動させる「Jアラート」により、市民に瞬時に伝達するシステムを構築しております。

向江　英雄　議員のつづき

・防災DXの推進について
・生成AI（人工知能）の利活用について
・ACP（アドバンスケアプランニング）の普及・啓発について

生成AI（人工知能）の利活用について

Q 生成AIの活用により業務効率が上がる事で、教育や福祉分野など人でなければできない業務への人的集中が図れ、市民の利便性向上へもつながると考える。本市の現状、今後の取組みついて伺う。

A 本市では、職員を対象に生成AI研修会を順次開催し、業務改善の効果測定、先進自治体の事例を研究して業務利用についての検討を進めています。今後も生成AIの技術を含め、デジタル技術やデータを活用して、利便性を向上させるとともに、デジタル技術の活用により、業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていきたいと考えています。教育現場では、倫理的な問題意識など児童生徒のリテラシーの向上を図りながら、子どもたちの主体的な学びを支援し、創造性を刺激する可能性を秘めている生成AIの活用を図ってまいります。

ACP（アドバンスケアプランニング）の普及・啓発について

Q 行政や医療機関が共同で市民の終活をサポートする意義は理解できても、元気な時に終末期を意識する事は困難な場合が多く、ACP（人生会議）についての普及・啓発は、超高齢化の進展する現代社会には必要であると考える。本市の現状と課題は？

A 本市では、「第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」において、医療や介護が必要な状態になっても、「自分らしく生きる」ことを実現するため、元気なうちから自らが希望する医療・介護について考えるツールとして、「メッセージノート（わたしの生き方ノート）」を作成し、身近な人と話し合っていただくことの大切さを啓発することに注力しています。まだまだ認知度が低いと認識しておりますので、今後も、泉佐野泉南医師会や多職種関係機関等との連携を深めながら、メッセージノートの普及に努めてまいります。

松村　正秀　議員

・生活安全について
・環境衛生について

防犯対策について

Q 「闇バイト」による強盗事件等が増えて心配だ。本市の防犯対策の取組みを聞きたい。また個人宅への防犯機器の補助を要望したい。

A 現在、本市では、町会・自治会が管理している防犯灯を、令和8年度より市が一括管理を行うための準備を進めています。個人宅への防犯対策機器設置の推進は、対象となる機器の種類や助成額などの課題を整理する必要があるため、まずは、防犯灯の一括管理を優先的に実施し、その効果を検証した上で、先進的な事例を参考に、費用対効果などを総合的に勘案し、検討してまいります。

SAF取組みについて

Q 家庭用廃食用油の回収拡充について今後の取組みを聞きたい。

A 廃食用油の回収拠点の拡充に向けて、広報誌やホームページ等を利用しての募集や、大型スーパーなどに回収拠点となっていただけるように要望してまいります。

中村　慎作　議員

・各地域文化財の価値再評価と活用について
・地元農家と共に築く新たな農業政策を

各地域文化財の価値、再評価を

Q 日本、地域が誇る精神、文化を未来へ。船岡山と佐野川・顕如のかくれ井戸、文化財の評価や保存・活用について教えて下さい。

A 令和3年に文化庁認定されました「泉佐野市文化財保存活用地域計画」に基づき、未指定の文化財の調査・価値の再評価を行うとともに指定や3つの日本遺産の構成文化財の追加認定をすることで、保存と活用につなげていきたいと考えております。

地元農家と共に築く農業政策を

Q 地元農家の実情に添い、共に築く農業政策を新たに検討願います。

A 本市としましては、持続可能な農業の実現に向けて販売戦略上のツールとしてのエコ米の生産拡大も視野に入れながら、兼業農家や小規模農家の方々の声に耳を傾け、地域の実情や抱える課題などを的確に把握し、大阪府など関係機関と連携を図り、生産者に寄り添う農業支援に努めてまいります。

布田 拓也 議員

・動画教材、デジタルドリルの導入と子供の主体的な学びの伴走体制
・随意契約の状況と補助及び委託事業の公募について
・泉佐野市の米づくり（農業）の現状

動画教材、デジタルドリルの導入と子供の学びの伴走体制

Q 動画授業やデジタルドリルの活用で個々の進度や学力に最適な学習が可能に。一斉授業の時代から学び方が転換する。教師の役割もティーチングからコーチングに。市は今年1月、DX推進プランを出し転換を計画。実現への状況は？

A 令和7年1月に策定しました「Izumisano× 教育DX推進プラン」は、全ての子どもの可能性を最大限に引き出し、「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる」社会の実現を教育DX実現後のビジョンの一つとして掲げています。次期学習端末の整備・運用予定の令和8年度までに各校での取組みの進捗状況を測る指標設定を進め、この指標に基づき、検証・改善を図ってまいります。現在は、ビジョンの実現に向け、教職員研修や研究推進体制の整備等を行い、市域全体でDXを推進するための実践を重ねているところです。

その他の一般質問

中庄谷 栄孝 議員

・し尿処理業者の経営危機について
・自転車に対する道路交通法改正について

※議員間の申し合わせにより、個人質問は年間2回まで希望の号に掲載し、それ以外の号は質問項目のみを掲載しています。

豆知識　赤ちゃんポストとは

赤ちゃんポストとは、何らかの事情で親が育てられない赤ちゃんを匿名で安全に預けることができる施設です。日本では2007年に熊本市の慈恵病院が初めて設置しました。主な目的は、遺棄や虐待を防ぎ、赤ちゃんの命を守ることです。利用者は様々な事情を抱えており、経済的困窮や家庭の事情、望まない妊娠などが背景にあります。一方で、「育児放棄を助長するのでは」といった批判や、「出自を知る権利」が害されることにも批判の声があがっています。しかし、命を守る最後の手段として一定の役割を果たしているのは事実です。今後は、支援体制の充実や相談窓口の強化とともに、社会全体で子育てを支える仕組みづくりが求められています。現在泉佐野市は、設置に向けて進んでいます。

意見書・決議

4件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書

賛成多数

送付先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、農林水産大臣

米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書

全会一致

送付先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣

米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書

全会一致

送付先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣

地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書

全会一致

送付先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）

市議会を傍聴しませんか

◆9月定例会の日程表◆

9月 2日(火)	本会議
9月 3日(水)	総務産業委員会
9月 4日(木)	厚生文教委員会
9月 8日(月)	決算特別委員会
9月 9日(火)	決算特別委員会
9月10日(水)	決算特別委員会
9月11日(木)	関空りんくうまちづくり特別委員会
9月12日(金)	りんくう総合医療センター対策委員会
9月17日(水)	行財政委員会
9月24日(水)	本会議
9月25日(木)	本会議
9月26日(金)	本会議

※午前10時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。
※手話通訳をご希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。

表紙の写真

これまでの泉佐野市のふるさと納税の取組みと成長戦略について、本市成長戦略室の阪上室長にご講演いただきました。

市議会だより編集委員

委員長 中庄谷栄孝
副委員長 大庭聖一
委員 布田拓也
向江英雄
日根野谷和人
西野辰也

●お問い合わせ
泉佐野市議会事務局
●発行／泉佐野市議会　●編集／市議会だより編集委員会　Eメール gikai@city.izumisano.lg.jp
〒598−8550 泉佐野市市場東1丁目1−1　電話:072−463−1212 FAX:072−462−5918